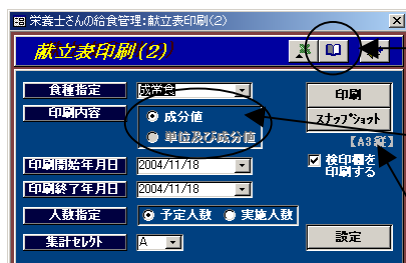


## 印刷帳表を縮小(拡大)する操作手順

ご利用のプリンターが、縮小(拡大)機能を有する場合、その機能を利用して印刷帳表を縮小(拡大)する事ができます。操作方法を次の記述します。

1. ページ設定画面を表示し、プリンターのプロパティ設定の準備をします。

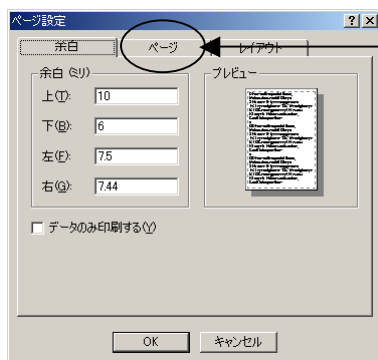


各印刷画面の右上にある、ページ設定ボタン(  )をクリックします。

帳表の種類指定がある場合は、その種類を指定した後にページ設定ボタンをクリックします。(ページ設定は、帳表の種類別に行われます。)

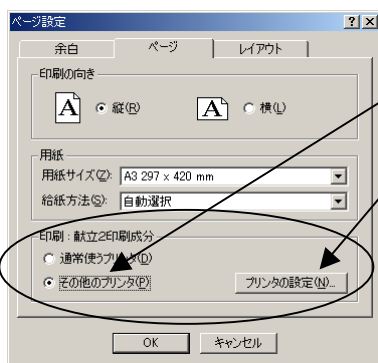
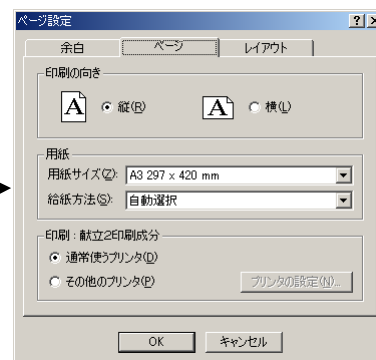
元々の印刷サイズです。後の縮小指定時の為に覚えておきます。

ページ設定画面が表示されます。



ページ設定画面が表示されましたら、“ページ”タブをクリックします。

ページ内容が表示されます。 →



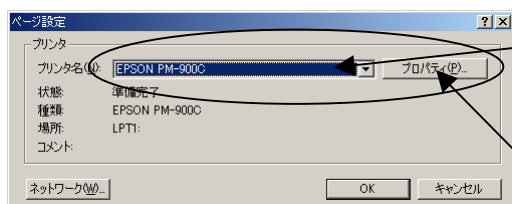
“その他のプリンタ”をクリックします。

“プリンタの設定”ボタンが使用可能になります。

(※すでに“その他のプリンタ”となっている場合は、無視してよいです)

“プリンタの設定”ボタンをクリックします。

ページ設定 プリンタ指定画面が表示されます。



使用するプリンタを選択します。すでに選択されている場合は、そのままが良いです。

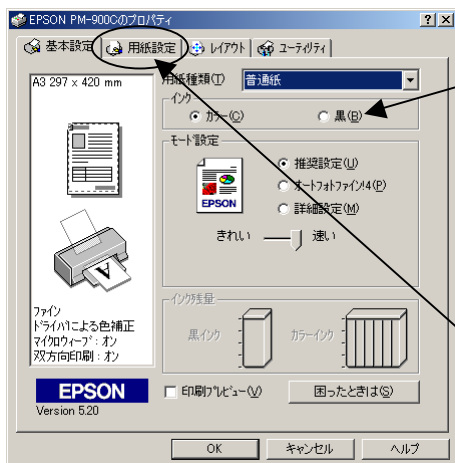
“プロパティ”ボタンをクリックします。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

## 2. プリンターのプロパティ設定で縮小(拡大)の設定を行います。

プリンターのプロパティ画面は、プリンターのメーカー・機種によって、形式が違います。それは、設定できる内容が変わる為です(白黒プリンターに色の指定が無い等)。

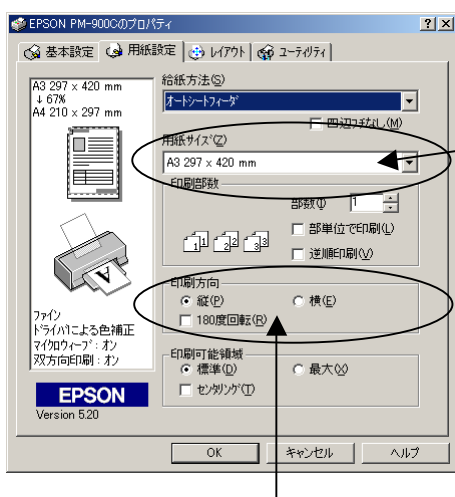
ここでの説明は、エプソンのPM900Cの画面を例に、A3→A4への縮小手順を記述致します。



“黒”を選びましょう。カラーでも良いですが、プリンターによってはインクの節約になります。

モード設定等も必要に応じて変更します。  
(通常は推奨設定でよいでしょう)

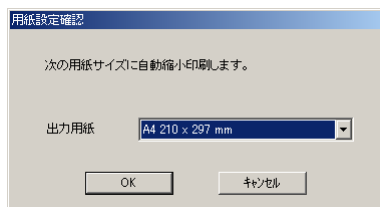
“用紙設定”タブをクリックします。



例題の献立表(2)はA3縦で印刷されます。

元々の印刷サイズを選択します。“A3”ですね。

選択すると、“次の用紙サイズに自動縮小印刷します。”と確認表示されるので、“OK”をクリックします。



※この確認画面が表示されない場合は、“レイアウト”タブをクリックし、縮小の設定をしてください。  
(“項番3”を参照。)

元々の印刷方向を選択します。“縦”ですね。

以上で、縮小設定は完了です。

“OK”ボタンをクリックし、画面を閉じます。直前に開いている“ページ設定”画面は、全て“OK”をクリックして閉じてください。

“キャンセル”をクリックすると、設定は行われません。

以上の操作を、縮小(拡大)したい帳表に対して操作します。

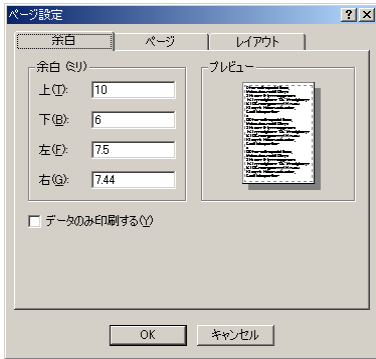
### 3. 他

a) 縮小しても印刷結果が複数ページになってしまう。

A3→A4に縮小しても、プリンターの物理的な制限により、帳表の端が入りきらずに複数ページになってしまうケースがあります。

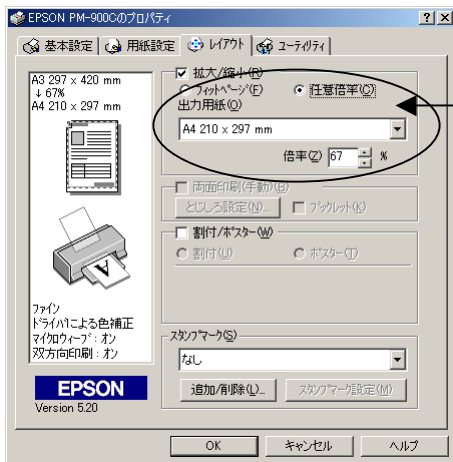
その場合は、余白の値を一度全て0にして“OK”してください。

自動的に、使用プリンターの物理的な限界値が設定されます。再度ページ設定画面を表示すると値が確認できます。



それでも複数ページになってしまう場合

プリンタのプロパティー画面を表示し(表示手順は“項番1”と同じ)、縮小率を上げてみましょう。



任意倍率をクリックし、倍率の数字を小さくします。

“項番2”の“次の用紙サイズに自動縮小印刷します。”という確認は、この設定を行いますという確認です。

倍率の任意指定による縮小と(任意指定)、元々の印刷サイズと指定の出力サイズから倍率を自動計算する縮小と(フィットページ)の2種類の指定ができます。

※あくまでPM-900Cの場合です。